

演奏会〔2〕

オーケストラで描く
「深き陰影と
若き息吹」

ピアノ/指揮
ピョートル・アンデルシェフスキ

指揮
サミュエル・スンウォン・リー

孤高のピアニストと
俊英の若手指揮者が、
宮崎国際音楽祭管弦楽団と贈る
珠玉のひと時。

2026

5.10 [日]

14:15 開場
15:00 開演

メディキット県民文化センター
(宮崎県立芸術劇場) アイザックスターンホール

Program ※演奏家の希望により当初の曲目が一部変更となっております。

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番 ハ長調 作品15*
メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」 作品26
交響曲第4番 イ長調「イタリア」 作品90

ピアノ/指揮：ピョートル・アンデルシェフスキ*
指揮：サミュエル・スンウォン・リー 宮崎国際音楽祭管弦楽団

【チケット取り扱い】

●メディキット県民文化センター チケットセンター ☎0985-28-7766
[窓口・電話受付]10:00～18:00 月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌平日休館)
臨時休館日：4/7(火)
[WEB] 劇場HPで座席を指定して24時間予約・購入できます。 <https://miyazaki-ac.jp>

【チケット料金】

[全席指定/前売価格] ※()内はくれっしえんど倶楽部会員価格

S席 9,000円(8,100円) U25割(鑑賞時25歳以下) 全席種半額
A席 7,000円(6,300円) 親子割 7,500円 ※A席のみ
B席 4,000円(3,600円)

*就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
*当日券が出る場合は、500円増し(ただし、U25割、親子割を除く)。
*U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合がございます。
*親子割は、小・中学生1名+一般1名のペアが対象です。
*車椅子席・介助席は窓口・電話のみで取扱いとなります。
*公演当日の混雑緩和のため、前売り券の購入をおすすめします。

主催：宮崎県、公益財団法人宮崎県立芸術劇場

共催：宮崎県教育委員会

名手と新鋭が描く、名曲の風景

国際的スター2人が音楽祭に初登場。それぞれに劇的かつ抒情味あふれる名曲をお聴かせする贅沢な公演です。前半は、個性的なピアニズムで陰影を放つアンデルシェフスキによるベートーヴェンの名曲、ピアノ協奏曲第1番です。古典的な均整美の中に、若きベートーヴェンの躍動と革新の気配が息づくこの協奏曲を、自ら指揮しながら、その内面を描きだします。そして、後半には三浦文彰がその才能に驚嘆して音楽祭に招いた俊英、サミュエル・スンウォン・リーが登場。メンデルスゾーンの優美と躍動感を、精鋭ぞろいの宮崎国際音楽祭管弦楽団から、どのように引き出すのか。興味が尽きません。ベートーヴェンの構築美と躍動、メンデルスゾーンの光と影。名曲の2つの表情を2人の稀有な才能たちが紡ぐ演奏会。どうぞお聴き逃しなく。

プロフィール



©Simon Fowler

ピョートル・アンデルシェフスキ Piotr Anderszewski (ピアノ・指揮)

ピョートル・アンデルシェフスキは、同世代を代表するピアニストの一人として国際的に高い評価を受け、世界各地の主要コンサートホールで定期的にリサイタルを行っている。レパートリーの中核は、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューマン、ウェーベルンに至るドイツ/ウィーン古典派であり、加えてシマノフスキやヤナーチェクを中心とした20世紀中欧音楽にも深い関心を寄せている。彼は自身が独創的かつ個人的な解釈を提示できる作品のみを慎重に選び演奏している。これまでに世界有数のオーケストラと共演してきたが、近年は弾き振りによる演奏活動にも力を注いでいる。とりわけモーツァルトのピアノ協奏曲においては、室内楽的性格を重視し、鍵盤から指揮することで、より対話的な音楽を生み出すことができると考えている。2000年よりワナー・クラシックス専属アーティスト。レーベル録音のベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》は数々の賞を受賞。バッハ《パルティータ》第1番、第3番、第6番およびシマノフスキのピアノ独奏作品集はいずれもグラミー賞にノミネートされ、後者は2006年に『グラモフォン』誌賞を受賞している。シューマン作品集は2012年にBBCミュージック・マガジン年間最優秀録音賞を受賞。さらに2015年にはバッハ《イギリス組曲》、2021年には《平均律クラヴィア曲集》の録音で『グラモフォン』誌賞を受賞している。ハンブルクのエルプフィルハーモニーで行われた同作品のライブ演奏はDVDとしてもリリースされた。ヤナーチェク、シマノフスキ、バルトークのピアノ作品に続き、最新盤としてブラームス後期ピアノ作品集がリリースされた。アンデルシェフスキの芸術活動は、映画監督ブルーノ・モンサンジョンによるドキュメンタリー作品の題材ともなっており『アンデルシェフスキ・プレイズ・ディアベリ・ヴァリエーション』(2001)『アंकワイエット・トラペラー』(2008)の2つのドキュメンタリー・フィルムを制作されている。2016年には、アンデルシェフスキ自らがカメラを回し、自身の故郷ワルシャワとの関わりを解き明かす音楽ドキュメンタリーフィルム『私はワルシャワ』を制作した。



©Tae-wook Kang

サミュエル・スンウォン・リー Samuel Seungwon Lee (指揮)

2024年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールの覇者、サミュエル・スンウォン・リーはプカレストのBMI国際指揮コンクールおよび台北国際指揮コンクールでも第1位を受賞している。2024/25シーズンまでシンシナティ交響楽団のアソシエイト・コンダクターをつとめた。2025/26シーズンはアイスランド響、トーンキョストラ管、オーフス響、コペンハーゲン・フィル、マルメ響、トゥルク・フィルハーモニー管、カンザスシティ響、ノルウェー放送管、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ劇場へのデビューが予定されている。このほかシンシナティ響、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管への再客演、韓国国立響との日本ツアー、グラナダ市管、アークティック・フィルハーモニー管での指揮者兼ソリストとしてのデビューも予定されている。これまでにベルリン・コンツェルトハウス管、バンベルク響、ハンブルガー・カメラータ、ライプツィヒ響、ハンブルク響、ニュルンベルク響、フランクフルト州立管、ブランデンブルク響、東京フィル、プカレスト響、アラド・フィルハーモニー管、ソウル市響、KBS響などに客演している。現代音楽にも積極的に取り組み、プライス・デスナー、ジュゼッペ・ガッロ=バルマ、マルク・ミゴらの作品の初演したほか、2021年および2022年にはカプリヨ現代音楽祭の指揮フェローを務めた。ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学でヴィオラをタペア・ウィンマンに、指揮をクリスティアン・エーヴァルトとハンブルク音楽演劇大学のウルリッヒ・ヴィントフルに師事した。ヴィオラ奏者として、バーデン=バーデン・フィルハーモニー管、ミュンヘン室内管、ボーデンゼー・フィル、ソウル市響、KBS響、韓国国立響等と共演。さらにシュレスヴィヒ=ホルシュタインおよびメクレンブルク=フォアポンメルン両音楽祭にも出演している。2009年から2017年まで、ノース弦楽四重奏団のヴィオラ奏者をつとめ、ベルリン・フィルハーモニー、カーネギーホール、ウィーン楽友協会、ケルン・フィルハーモニー等世界の主要ホールに出演。また同弦楽四重奏団のメンバーとして第61回ARDミュンヘン国際音楽コンクール第2位、ザルツブルク国際モーツァルト・コンクール第1位に入賞している。2022年までライプツィヒのフェリックス・メンデルスゾーン=バルトルディ音楽演劇大学でヴィオラ教授を務めた。

チケット取り扱い

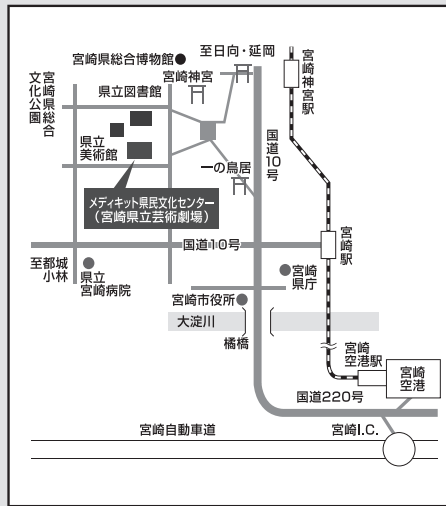
●メディキット県民文化センター
チケットセンター ☎0985-28-7766
[窓口・電話受付] 10:00~18:00
月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌平日休館)
臨時休館日:4/7(火)
[WEB] 劇場HPで24時間座席を指定して予約・購入できます。
<https://miyazaki-ac.jp>

[チケット好評発売中]

託児情報



公演を鑑賞される際にお子様を公演会場に預けられる託児サービスあり。申込みは、公演日の1週間前までとなります。なお、キャンセルされる場合は公演日の3日前までにご連絡ください。
【対象】6か月~12歳まで
【料金】お子様おひとりにつき1,000円(税込)
【申込先】NPO法人みやざき子ども文化センター ☎080-4694-8686
月~金 10:00~18:00(土日祝休み)



所在地: 〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地

メディキット県民文化センターには専用駐車場はありません。県総合文化公園内の共用駐車場は、大変混み合いますので、お越しの際は、公共交通機関のご利用にご協力ください。

- 掲載の内容は、2026年3月16日現在の情報です。
- 記載している日程、出演者・演奏曲目等内容が変更になる場合があります。
- 公演中止の場合を除き、出演者・曲目変更による払戻は致しませんので、あらかじめご了承ください。
- チケット代金のお支払い後、お客様のご都合による変更・キャンセルはお受けいたしかねますので、ご注意ください。
- 公演時間は、約2時間を予定しておりますが、状況により変更になる可能性がございます。
- 演奏中はホールへの入場をご遠慮いただく場合がございます。ご来場の際は、時間に余裕を持ちお早目にお越しください。

○最新情報については、宮崎国際音楽祭ホームページ (<https://mmfes.jp>) をご覧ください。



音楽祭公式HP

お問い合わせ先

宮崎国際音楽祭事務局(公益財団法人宮崎県立芸術劇場) 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地 TEL:0985-28-3208

公演協賛: UMKテレビ宮崎/ミクロエス(株)/(株)宮崎銀行/(株)宮崎太陽銀行/(株)宮崎日日新聞社/MRT宮崎放送/フェニックス・シーガイア/リゾート/宮崎ガス(株)/宮交ホールディングス(株)
特別協賛: 全日本空輸(株)/日本航空(株)/(株)宮崎観光ホテル/(一財)みやざき公園協会/(株)エフエム宮崎
協賛: JAみやざき/大和証券(株)宮崎支店/メディキット(株)/(株)ハンズマン/高鍋信用金庫/宮崎第一信用金庫/三桜電気工業(株)/(株)宮崎山形屋/宮交タクシー(株)/(株)タカシヤ新聞社/(株)イー・アール・シー高城/(公財)旭化成ひまわり文化財団/(株)ケーブルメディアワイワイ/BTV(株)/イオンモール(株)イオンモール宮崎/(株)アイロード/(株)FMのべおか/(株)都城ドライビングスクール
協力: 霧島酒造(株)/雲海酒造(株)/宮崎ケーブルテレビ(株)/九州労働金庫宮崎県本部/旭有機材(株)/医療法人わかば大手門歯科クリニック/学校法人メイ・ウツヤマ学園/(株)九南/(株)ぎょうざの丸岡/日本カルミック(株)/パーソルビジネスプロセスデザイン(株)/(株)日高本店/南日本酪農協同(株)/宮崎空港ビル(株)/宮崎タキソード倶楽部/米良電機産業(株)/メディカルフィットネスフィオーレ/みやざき文化村/(株)日本衛生公社宮崎/(株)宮崎サンシャインエフエム/(株)河合楽器製作所宮崎店/(株)西村楽器/(株)下森塗装/(株)都城ワイナリーファーム/(株)水耕舎/旭建設(株)/学校法人櫻美学園/(株)FORCUM